

セ ン タ ー
便 り絆
きずな

第202号

発 行 所

社会福祉法人
西 陣 会HP: <https://www.nishijin.org>
E-Mail: nishijinkai@nishijin.org〒602-8464
京都市上京区元誓願寺千本東入ル
TEL (075) 451-8971
FAX (075) 451-5700発 行 者: メンセンディーク マーサ
編集責任: 土 屋 健 弘郵便振替口座
01030-5-23086ホームページでも
ご覧になれます当法人への寄付
金は、課税控除
対象となります
ので、その為の
受領書が必要な
方はお申し出下
さい。

支援を生み出す井戸

前理事長
南大路 文子

三期六年にわたって勤めさせていただいた理事長を退任いたしました。任期中、たくさんの方々に支えられ協力していただきました。感謝申し上げます。思い返せば、就任一年目の二〇一九年は新型コロナウイルスが猛威をふるう兆しを見せ始めた年です。私の勤務先でも二〇二〇年四月から対面授業が中止になり、新入生も含めてすべての学生は自宅待機を余儀な

くされました。私は、長く慣れ親しんだ対面による授業で学生たちの表情や反応を見ながら話したり交流したりすることができなくなり、それまで聞いたこともなかったZoomやMS Teamsの使い方を大急ぎで学習し、リモートによる新しい授業方法を考えなければなりません。とにかく戸惑うことばかりで、悪戦苦闘の日々でした。私個人はなんと言ってもリ

モートでは達成できないことが対面授業にはあると思っていますが、それでもコロナ禍の中ではリモート授業が代替手段として有効だとも感じました。一方、西陣会が担っている様々な事業や活動に目を向けると、そのほとんどがリモートワークでは為し得ないことばかりで、未知のウイルスに感染する危険を顧みず、業務を続けたスタッフの責任感には感服しました。

今、建て替えの準備が進んでいます。プランでは、敷地を入ったところに井戸があります。かつて世界の多くの場所で、井戸は人々の生活の中心でした。日本では井戸端会議ということばがあるように、住人たちが井戸のまわりに集まり、夏は冷たく冬は温かい水を利用して洗濯や器洗いをしながらおしゃべりをしていたことでしょう。聖書にも井戸にまつわる話が何度も描かれます。決して水が豊かではないパレスティナでは、人も家畜も井戸の水で命を繋いでいました。だからこそ井戸は諍いの元にも和解の場所にもなりました。イエスが、人目を避けて昼日中に水を汲みに来たサマリア人の女性に話しか

け、彼女に自分がメシアであることを明かしたのも井戸のそばでした。彼女は自分の素性を見抜いたイエスによって解放され、永遠の命に至る水を得ました。もし西陣会の新しい建物の前に井戸の設置が実現したら、その水は災害時に地域の人々に提供されることはもちろん、おいしいお茶やコーヒーを入れるのに使われ、法人内外の人にとって憩いの場となることでしょう。職員の皆さんや利用者さんたちが立て替えについて話し合う中で、「井戸」を掘るという発想が生まれるところに、西陣会の明日への可能性が見えます。どうかこれからも活きた支援を供給する井戸であり続けてください。

2025 年度新役員

私たち西陣会は、63 年目の歩みを進めています。ここに至るまでに、多くの方々のお支えがあって事業が継続されていることに対し、改めてお礼申し上げます。

さて今年度は、評議員・理事の改選の年度でした。長期にわたりお支え頂いてきた方のご退任と、新たにお支え頂く方の就任もありましたので、ここにご報告させていただきます。

変化に富む時代を迎えていますが、これからも地域課題と向き合い、真摯に取り組んでいきたいと考えていますので、皆様には引き続きご支援・ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	★評議員	★評議員	★評議員	★評議員	★理事長	理事	理事	理事	★理事	★理事	理事	理事	監事
余根田 保	佐々貴 義全	喜多 泰弘	平松 紀代子	宮川 知子	久門 誠	坂下 昌史	戸水 晶子	前出 英之	マーサ・メンセンディーク	武田 康晴	平田 義	和田 喜彦	松田 めぐみ	土屋 健弘	中山 あい	宇川 征宏	菅 恒敏	村井 喜治

（敬称略 ★は新任）

(敬称略) ★は新任

退任のごあいさつ

一人ひとりの明日に

福井 治子

自閉症の息子が中学生になった頃、家庭療育援助グループ「ビーポ」との出会いがありました。職員の方々や多くのボランティアさんの

支えを得た土曜の午後の活動にとどまらず、春夏秋冬企画された多彩な行事は、

児童館のみなさんと繋がり、家族の皆さんと結ばれた思い出の宝庫です。

時が流れ、青春真っ只中、

最愛の父親を亡くし、その暮らしの変化に戸惑い、自らを律せずに良さを失う姿に、全てを理解いただいた施設入所に及び、レスパイト事業のお力を得ながら、今、仕合せな日々であり、来年は還暦を迎えます。

帰省した彼とのお決まりの初詣は、北野天満宮↓石川宅↓今宮神社↓名物のあぶり餅↓大徳寺を抜け南に下がり、静かなセンターの前に佇み、心に何が去来し

えみプラン』を掲げ、地域と繋がる真の共生社会が目指されています。

今日まで、広く共感ある方々のお力をいただく西陣会は、さらに地域に根差し門戸拡がる「建築プロジェクト」が進行中です。新しい館に多くの出会いが生まれ、そこに集う一人ひとりの明日に仕合せが拓かれますようにと、心から願ってやみません。

ピースフルネス

山本 恵

「二盃からピースフルネス」は裏千家の大宗匠千玄室氏(百二歳)が提唱される茶道を通じて平和を築くという考え方です。静寂さのある力強い思想です。ピースフルネスとは「平和さ、穏やかさ、落ち着き、安らぎ、静けさ」などを意味し精神的緊張や不安がない状態を表します。

同志社大学名誉教授である元西陣会理事長の深田未来生先生は、西陣会の理念と活動を、「私たちは一人ひ

とりの人間が、その人らしく生き、大切にされ、お互い助け合って共に生きていける社会を目指し、何よりも隣人を愛することによって平和と正義が確立される」と説かれました。西陣会と裏千家と同志社大学は同じ上京区の地域です。

現代は、不安と分断が渦巻く時代です。西陣会に集う一人ひとりが、千玄室氏と深田未来生先生の崇高な理念を共有され発展されます

事を願っています。私も西陣会で教わった事を糧にして生きていきたく思います。

この地から優しさの連鎖を紡いでいきましょう。皆様ありがとうございます。

西陣会との出会いに感謝

叶 信 治

私と西陣会とのつながりは、一九八〇年代前半からです。エキユメニカル青年運動や、希望の家の働きを通して、西陣会と出会いました。大津健一元館長他数名が集まり、当時拘束されていた、故・金大中氏の釈放を求める署名活動の相談を行ったり、「地域配食」の活動について情報を分かち合ったり、児童館について語り合い交流したり、とても近いつながりを持てていただきました。

時代は進み、制度も大きく変わり、改善もなされてきました。しかし一方、世界各地で、民族の壁、宗教の壁、利害の壁、その他さまざまな壁が作られ、それが当然であるかのような主張がなされ、互いに傷つけあう日々が続いています。私・私たちの中でも、同様に感じます。

その後、西陣会では障がい児者のみなさんのニーズに正面から向き合い、次々と事業を立ち上げて行かれました。また、震災等により困難の中にある人々への支援活動に、先頭に立って取り組んでくれました。人の尊厳を大切に止ま

ない、その姿は、京都市は もちろん、日本全体をけん引する熱意と力にあふれていると感じます。

「共に生きるよろこび」の種を、これからも、まき続けていってください。

みなさんとの出会いに、心から感謝しつつ！

地域生活支援ニュース

デイセンターふらっと

建て替えまでに私たちができること

田 中 久美子

デイセンターふらっとは建て替えることになっており、徐々に準備をしています。新しい建物が建つまでに仮の建物に移動する事が決まっており、どのような建物に移動できるかわからないという事がわかっています。

なるかもしれないなど様々な想定ができます。ご利用者の事を知らない状態で移動するとご利用者も職員も混乱する事が考えられるため、各職員が一人でも多くのご利用者の事を今まで以上に知り、ご利用者と信頼関係を築く事が今の私たちに必要で、建て替えまでにできることではないかと考えました。

現在三つの部屋に分かれており、職員が各部屋を行き来する事がコロナ流行以降、少なくなり、他の部屋のご利用者の対応などをあまり知らない職員も多くなってきました。仮の建物やまだ見ぬ新しい建物がどのような間取りなのかわからないため、移動した際にご利用者・職員のメンバーを入れ替えないといけない可能性があるので、同じ部屋で過ごす事が

今では行きます。職員も増え、各職員が様々なご利用者と信頼



デイ たこ焼きパーティー

関係を築くことができています。私自身も、各部屋のご利用者として過ごす事で意外な一面を知り、一緒に過ごす中で笑顔になって下さるのはうれしい事だと思えました。また、職員同士もお互いを気かけ、声をかける頻度も増え、いい方向に向かっています。まだ、建て替えまでに一年ほどあるため、より一層ご利用者との信頼関係を築き、建て替えの移動時には混乱なく過ごしていただけるような環境作りをしていきたいと思っています。

西陣会居宅サービス係

生活の転機

森 勇輝

約十年生活をした場所から引越しの時がやってきました。

シェアハウス小松原の家として事業をスタートしたのが二〇一五年秋。三名の入居者を迎えて共同生活が始まりました。機嫌よく交流したり話をする日もあれば、ちよつと機嫌が悪く喧嘩になる日もありました。

開始当初は「その日の冷蔵庫の材料を見て献立を考える」という男性ヘルパーには難易度が高い状態ながらも、皆さん色々と調べながら作ってくださっていました。二〇一七年の沖縄旅行や入居者の入れ替わり等、振り返ってみればたくさんの思い出が詰まった十年でした。引越し作業後に小松原の家を訪れると、この十年で見慣れた景色から一変した物のない空間を寂しく感じました。いつかはこの時がくると思っていながらも、なんとなくまだ先のように感じていた事が、目の前にきてしつかりと実感

に変わりました。きつと私以上に毎週ここで生活しておられた入居者の皆様は寂しさを感じておられると思います。

この六月からは上京区鳳瑞町に移転してシェアハウスのリスタートです。環境が変わることでの緊張や不安等もありますが、入居者の皆様に安心して生活していただけるよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。

居宅サービス係で契約している利用者の皆様の中にも居住の場の転機を迎えられたり、それが迫っている方もいらっしゃると思います。全ての皆様が平等に歳を重ねていく中、ご本人の状況も家族の状況も変わっていきます。以前は簡単にできたことが時間がかかるようになったり、ちよつと億劫になったり。そのような状態に合わせて今の支援の見直しと同時に、これから迎えてくるであろう「五年、十年先のこと」を見据えて準備をしていくことも必要だと感じています。準備せずにその時を迎えたと限られた選択肢になってしまふ可能性が高いです。その時がきてても慌てることなく、皆様それぞれにあった生活が続けていただけるように少しずつ準備を進めていければと思っています。

地域活動支援センターふらっと

三十五周年記念行事

『野球観戦&名古屋満喫旅行』レポート

藤 賀 一 暢

二〇二四年に三十五周年を迎えた地活ふらっとは、二年に跨り六回に分けて記念行事(旅行)を実施中。去る五月二十四日・二十五日、メンバーさん三名と、職員／ボランティア三名の計六名で名古屋へ行ってきました!!

今回の目玉は野球観戦。試合は名古屋バンテリンドームなので雨でも安心。企画段階で野球好きなメンバーさんの顔を思い浮かべながら、野球も名古屋も満喫してもらえたらという思いで当日まで準備を進めてきました。



グラウンドはアツかった……

当日はやっぱり?!雨模様。他球場の試合が中止になっていてはニュースに触れ、「ドームで良かったなあ」と皆でしみじみしながら現地へ。ドームの熱気とスタンドから見える光景は圧巻でした。

阪神×中日戦がスタート。僕らはもちろん!阪神を応援。接戦のまま終盤へ。阪神の中野選手のうちわを持って応援するメンバーさん。中日に一点リードされ九回二アウト。阪神のバッテリーは……中野選手でした。その巡り合わせに勝手に感動していました。やっぱり皆さん「もってる」なと。結果は……あえて触れません(笑)。

試合が終わってもまだ終わりではありません!実はこの日はグラウンドウォークというイベント付き。試合後のグラウンドに僕らも下りることができました。とても貴重な体験で、旅行ならではの非日常すぎる一コマでした。

一日目の昼夜、二日目の朝昼のご飯はこれでもかというくらい名古屋名物三昧。皆さん大満足の表情とおなか具合でした。楽しみがあるから頑張れ



みんなと飲むビールはサイコー!!

るとは良く言いますが、まさにこの旅行で一番感じたのは「楽しいことって大事」でした。地活ふらつとは余暇活動であり「楽しい!!」に特化できる事業です。楽しみ方は人それぞれ、誰かに決められるものではないけれど、「こんな風にしたらもっとおもしろいかもよ!」「あんなことにもチャレンジしてみたら?」と、各々の楽しみの幅が広がっていくような地活ふらつとであるよう、日々頑張ろうと改めて感じた旅行でした。

支援センター「きらリンク」

地域生活支援拠点とは

相談員 佐藤 匡

国が整備を進めている地域生活支援拠点事業とは、「障害児者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、障害のある方が住み慣れた地域で生活できるよう、居住支援のための機能を整備し、障害児・者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制のこと」であると説明され、①緊急時に必要なサービスのコーディネートや相談を行う機能②短期入所を活用した緊急時の受け入れ・対応の機能③親元からの自立や地域移行支援等に体験の場を提供する機能④医療的ケアや行動障害への専門的人材の確保・養成する機能⑤地域の社会資源の連携体制

づくりを行う機能の五つの機能が挙げられています。きらリンクが属する北部圏域（北区左京区）でも五月に「地域生活支援拠点等事業」についての説明会を企画・開催いたしました。京都市障害保健福祉推進室担当者からの説明は事業の趣旨や概要、想定ケースを通しでできるだけ分かりやすく工夫されていました。多くの事業所の参加があり関心の高さが感じられました。京都市では昨年十月からモデル事業として南部圏域（伏見区※醍醐支所管内を除く）で緊急時の計画を作成する助言・指導を行う相談事業と一人暮らし体験等事業を実施されており、今後二年程かけて全市に展開されていく予定です。北部圏域でもまずは、グループホームや短期入所事業所、他の相談支援事業所とともにどのような支援ができるか等を考える機会を持ち、関係機関との連携を深めていきたいと考えています。

支援センター「にしじん」

入職しました。 よろしく願いいたします。

中川 愛子

四月から「にしじん」の職員になりました中川です。中学生の頃に光GENJIが大ブレイクしていたということで年代を考察しただけだと思います。大学はデザイン系で卒業後は全く違う業界にいましたが、専業主婦時代を経て大阪の放課後等デイサービスで勤務し、この度機会あつて地元である京都に戻り西陣会さんで働かせていただくこととなりました。センター内の先輩方をはじめ法人の皆さんが温かく迎え入れてくださり、慣れない仕事にあたふたしつつ、新しい多くの出会いを楽しみつつ、あつという間の三ヶ月が過ぎたところです。同じ福祉業界とはいえ放課後等デイサービス職員と相談支援専門員は、動き方も必要とされる知識もかなり違います。成人の方の利用できる制度をわかりやすく説明すること。利用者さんの今の困りごとと今後の人生に想いを馳せながら必要と思われることを提案していくこと。たくさんの方と関係者の方とケース会議をして方針を決めていくこと。いづれにも経験と知識の不足を痛感し、知らないことを聞かれたらどうしようという自信の無さから先回りして自分の知っていることを話したり、利用者さんのお話をしっかり聞き取れていなかったりといった空回りもしています。

関わりの中で利用者さんから学ばせていただいたこと、先輩方に助言いただいたことを大切に（なかなか吸収できない自分にもどかしさを感じますが）、少しずつ仕事を覚え利用者さんに伴走できる相談員になるべく精進したいと思っています。よろしくお願いいたします。

路地裏ステーションニュース

西陣児童館

西陣児童館建て替えに思うこと

京都市乳幼児親子のつどいの広場 おひさまルーム 鈴木 まゆみ

西陣児童館さんとは私の子ども達が乳幼児クラブで世話になったことが縁となり、おひさまルームに携わってからはチラシ配架を快く受けてくださり、その後もイベント共催やおひさままでの児童館プログラムの開催等、機会あるごとにお声掛けとご協力をいただき大変お世話になってます。

その児童館さんが建て替えされる、しかも地域に開かれ、いろいろな世代の方が利用できる場所を目指しておられるとのことと期待がふくらむばかりです。

おひさまもちょうど二年前、千本通り沿いの大きな

建物から小さな路地にある一軒家に移転しました。ご近所にはお年寄りが多い静かな住宅街です。挨拶まわりの際には「保育園なの?」と不思議そうに尋ねられることも多く、こんなに静かな場所で赤ちゃんの泣き声やリズム遊びのにぎやかな音を出しても大丈夫かしら……と少し不安がよぎりました。でも、いざオープンしてみると「子ども達にどうぞ」とたくさんのお母さんやキャラクターグッズをくださる方、「もう使わなくなっちゃったから」と可愛い木製キッチンセットを届けてくださる方がいらつしゃい

ました。また、左隣のおばあちゃんはお飼っている犬を触らせてくださるし、右隣のおばあちゃんのお花はたくさんのお花が咲いています。「帰りたいくない!」「(自転車に)乗りたいくない!」と泣いちゃう子ども達に「ワンワンいるかな」「きれいなお花見にいこっか」と声をかけると、目をキラキラさせて「うんっ!」と言ってくれます。赤ちゃん連れのママパパ達も「何ヶ月?可愛いね!」とご近所さんに声をかけてもらってニコニコ笑顔で帰られます。

地域とつながるって、特別な交流イベントだけでなく、このような日常のやりとりでできていくんだと改めて感じさせてもらいました。

先日の児童館建替えワークショップでは、一階にカフェ、屋上の菜園などの素敵なアイデアがいっぱい。そこにふらつと立ち寄りたり、何かしらのお手伝いができたり、地域の方が自然と集まりゆるーくつながれる、和やかな空間になるのでしょうか。本当に楽しみにしています。



絵本ボランティアのちふみん♪



児童館 ふわふわ風船どこいくの?



空へはばたけ! アゲハ蝶

活動日誌

【本部・京都市民福祉センター】

4月

13日 西陣マルシェ
14日 レクリエーション委員会
月曜集会

28日 総務委員会
17日 産業医面談相談会
月曜集会

23日 キヤリアパス&人材育成計画推進委員会
30日 建て替えPJMTG

5月

7日 バザールカフェ見学
8日 監事監査
10日 建て替えワークショップ・説明会
12日 月曜集会

14日 建て替えPJMTG
18日 上京消防団総合査閲
19日 新入職員座談会
20日 キヤリアパス&人材育成計画推進委員会
24日 理事会
26日 産業医面談相談会
30日 安全衛生委員会
評議員選任解任委員会
建て替えPJMTG

6月

8日 定時評議員会
理事会
西陣マルシェ
9日 月曜集会

【デイセンターふらっと】

4月

21日 ユニットリーダー会議

5月

2日 福祉避難所説明会
13日 生活介護等事業連絡協議会
京都知的障害者福祉施設協議会

6月

7日 デイ職員全体会議
9日 振り返りミーティング
16日 ユニットリーダー会議
19日 避難訓練

【西陣児童館】

4月

5日 地域の子育て支援の場への職員派遣(今年度も定期的に実施)
10日 学童クラブ入部式
22日 パレード♪スタート

5月

31日 大学生と遊ぼう(出前児童館 in 橘公園)

6月

10日 実習生の受け入れ(京都看護大の学生)
13日 同志社女子中高花の日訪問受け入れ

【居宅サービス係】

4月

5日 ヘルパー研修会
7日 北の勉強会
13日 居宅職員会議
15日 上京ねっと運営委員会
18日 サービス提供責任者会議

5月

11日 居宅職員会議
16日 サービス提供責任者会議

6月

2日 居連協総会
8日 北の勉強会
11日 居宅職員会議
18日 上京ねっと総会
18日 サービス提供責任者会議

【きらりんく】

4月

4日 北部自立支援協議会運営会議
22日 基幹型支援センター研修事業北部圏域相談支援事業所座談会
23日 左京区こころのふれあいネットワーク幹事会

5月

19日 北区こころのキャンパスネットワーク実務者会議
20日 基幹支援センター事業権利擁護連絡会
21日 北部自立支援協議会地

18日 乾隆小学校運営協議会(中山)

6月

22日 域生活拠点等説明会
26日 北部自立支援協議会
28日 北部自立支援協議会夜のZoom交流会

2日 京都市居宅介護事業等連絡協議会
11日 左京区こころのふれあいネットワーク全体会
14日 北部自立支援協議会
19日 支援センター部会
25日 北部こころのキャンパスネットワーク総会
26日 北部自立支援協議会全体会議
28日 基幹センター会議
障害支援区分審査会

【にっこり】

4月

3日 中部自立支援協議会事務局会議(Zoom)
7日 日本弁護士連合会研修機能集約合議体
10日 上京区ひきこもり支援調整会議
11日 下京区虐待判定会議
14日 中京区虐待判定会議
15日 上京区障がい児者支援ねっとわーく運営委員会
16日 上京こころのふれあいネットワーク実務者会議
17日 中部自立支援協議会運営会議
22日 中部自立支援協議会

5月

1日 中部自立支援協議会事務局会議
8日 機能集約合議体
12日 上京区社会福祉協議会3号委員会
15日 中部自立支援協議会運営委員会
28日 上京こころのふれあいネットワーク総会

6月

2日 居連協総会
4日 下京地域福祉推進委員会
5日 中部自立支援協議会事務局会議・下京区地域推進委員会
6日 ひきこもり支援調整会議
11日 上京ねっと総会・定例会
12日 機能集約合議体
19日 中部自立支援協議会運営会議・相談支援専門員カフェ
25日 基幹センター会議
26日 支えあいの会

※毎月、施設長会議・主任会議を実施しています。

その他、諸事業諸活動においても定例活動を行っております。

センター往来

◎ 4月13日と6月8日に開催された「西陣の朝市マルシェ」にて焼きそばなどの出店と遊び場ブースのお手伝いをさせていただきました。

◎ 4月15日韓国地域自活センター協会から12名が視察に来日され西陣会をご案内させていただきました。お互いにボランティアな働きから成り立った集まりであることなどに共通点があり、公益的な活動の話にも興味深くご清聴いただくことができました。

◎ 5月10日建て替えワークショップと説明会を行いました。地域の方々にも参加していただき、新しい建物について建築家の模型を見ながら説明をしていただいたり、参加者の皆様からの意見をいただく有意義な時間となりました。

◎ 5月18日京都御所富小路広場にて上京消防団総合査閲が行われ、嘉楽分団の一員として4名の職員が参加させていただきました。

◎ 5月18日職員のサークル活動「珈琲と〇〇」を行いました。居宅サービス係職員小林さんが焙煎して淹れたおいしいコーヒーをたくさん飲んだ職員で味わいました。

◎ 5月24日理事会が開催され、2024年度決算報告等について承認されました。

◎ 5月19日新入職員座談会を行いました。新入職員

2名と先輩職員で色々な話をしてお互いの働き方や各事業部について情報交換をするにぎやかな会となりました。

◎ 5月30日評議員選任解任委員会を開催いたしました。そこで、3名の退任と3名の新評議員の就任が議決されました。

◎ 6月8日定時評議員会が開催され、2024年度決算報告等について承認されました。また、理事3名の退任と3名の新理事の就任が議決されました。さらに、同日の午後に理事会が開催され、新理事長と総務委員会委員等についての提案が議決されました。

◎ 6月27日 KATARIBA 食堂が開催されました。

◎ 6月28日みやこめっせで開催された FUKUSHI 就職フェアに出展させていただきました。

お祝い

○居宅サービス係職員の片山健太さんが3月31日にご結婚されました。おめでとうございます！



今後の月曜集會会の予定

9月8日・22日・
10月27日・11月10日・
12月8日

自由な雰囲気の中で
す。基本19時からですが、日時についてはお尋ねの上お越しく下さい。

お知らせ

○西陣会のホームページがリニューアルしました!!



住所変更のある方、当機関誌のご不要な方はFAXにて(075) 451-5700 迄ご連絡下さい。

社会福祉法人 西陣会

。法人本部

。京都市民福祉センター

。地域活動支援センター
ふらっと

。地域生活支援事業
レスパイトサービス

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。西陣児童館

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。西陣会居宅サービス係
相談支援事業所きずな

。西陣会ホームとなり

。西陣会ホームきたまち

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。デイセンターふらっと
ショートステイゆう

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。京都市中部障害者地域生活
支援センターにしじん

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

。京都市北部障害者地域生活
支援センターきらりリンク

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570

TEL (075) 451-1897
FAX (075) 451-1570